

号外

沖縄タイムス
OKINAWA TIMES

2014年(平成26年)
12月14日 日曜日

発行所 那覇市久茂地2丁目2番2号
(郵便番号900-8678) 沖縄タイムス社
電話代表(098)860-3000

仲里氏当確

4区「建白書」勢力勝利

第47回衆院総選挙は14日投開票され、沖縄4区は無所属新人の仲里利信氏(77)の初当選が確実となった。政党選挙の衆院選で無所属候補として敵しい戦いに挑み、県政交代を実現した保革、政党を超えた知事選の枠組みで勝利をつかんだ。



支持者と勢を上げる仲里利信氏(77)日午後、南風原小学校体育館

沖縄4区は仲里氏と自民前職の西銘恒三郎氏(60)の公明推薦の一騎打ちとなった。仲里氏は昨年まで西銘氏の後援会長を務めていたが、西銘氏が米軍普天間飛行場の名護市辺野古を容認する立場に転じたため会長を辞職。元後援会長の仲里氏と、前自民党県連会長の西銘氏の組み合わせは今選挙の注目選挙区の一つとなっていた。

仲里氏は出馬にあたり、急きょ後援会を立ち上げ、選対本部は翁長雄志新知事を誕生させた「建白書」勢力が政党を超えて構成。翁長知事も精力的に応援に入りテコ入れを図った。

仲里利信(なかとし のぶ) 1937年3月生まれ。南風原町出身。60年琉球大学文学部卒業。会社代表などを経て92年に県議選で初当選、4期16年務めた。2006～08年まで議長を務めた。現在「建白書の実現を求める島ぐるみ会議」共同代表。

詳しくはあすの紙面、電子新聞 <http://www.okinawatimes.co.jp> でお読みください。

電話代表(098)860-3000

特集

「普天間」県外主張

民意無視の政権批判

仲里利信氏の主な政策について、沖縄タイムスが実施し、本人が回答したアンケートから紹介する。

■普天間・安全保障

仲里利信氏は、普天間飛行場の返還に向けた解決方法について「わが国の安全のために必要なら全国で応分負担すべきだ」と訴え、県外・国外移転を主張してきた。

与那国への自衛隊配備については「周辺国に緊張と不安定状態をもたらす」と反対している。

■政権評価・政治姿勢

安倍晋三政権の評価として、仲里氏は26点の「赤点」とし低く評価した。消費増税での弱者いじめや軍国主義化、辺野古新基地建設の強行での県民意思の無視を批判した。

首相・閣僚の靖国神社参拝については「遺族や関係国に反対の意見がある」と否定的な立場をとる。

だ。
■沖縄振興・カジノ
一括交付金について仲里氏は20点と低評価。「自由度の高い交付金とはほど遠い制度と内容だ」と改善していく考えを示している。

カジノ導入については「沖縄の自然や文化を生かした観光施策とかけ離れている」として反対している。

支持者と手を取り合って氣勢を上げる仲里氏(中)と支持者(左)を囲む仲里利信氏(右) 12月7日午後、南風原小学校体育館



翁長雄志新知事(左)を出迎える仲里利信氏(右) 7日午後、南風原小学校体育館

2014年衆院選

政策アンケート

4区



仲里利信氏

政治姿勢	安倍政権の評価	26点
	解散の妥当性	×
	首相、閣僚の靖国参拝	×
	翁長新県政への立場	協力的
普天間・安全保障	普天間飛行場の辺野古移設	×
	普天間飛行場返還の解決法	県外・国外
	普天間返還が遅れている理由	県内移設の条件付きだから/日米両府が辺野古に固執するから/県民の民意を無視した手法だから
	オスプレイ配備	×
	与那国への自衛隊配備	×
	憲法解釈変更による集団的自衛権の行使	×
秘密保護法	憲法改正	×
	憲法9条改正	×
	特定秘密保護法	×
振興	一括交付金の評価	20点
	カジノ導入の賛否	×
行財政改革・原発など	消費増税の賛否	×
	改正生活保護法への賛否	×
	原発政策	即時廃止、または、段階的に廃止
	TPP参加の賛否	×

○：賛成 ×：反対 一は無回答



特集